

令和元年度 カキ類養殖試験報告書

2020年5月
尾鷲市水産農林課

【マガキ天然採苗試験】

大曽根

5月に16基、6月に16基を岸壁に設置→8月、9月に回収
採苗器1基（プレート30枚）あたり種苗2,910～6,350個、平均3,859個採苗
32基で計123,480個採苗（H30実績 15基で計68,985）

曾根

6月に1基を岸壁に設置→9月に回収
採苗器1基（プレート30枚）あたり種苗5,040個採苗（H30実績 1基で2,860個）



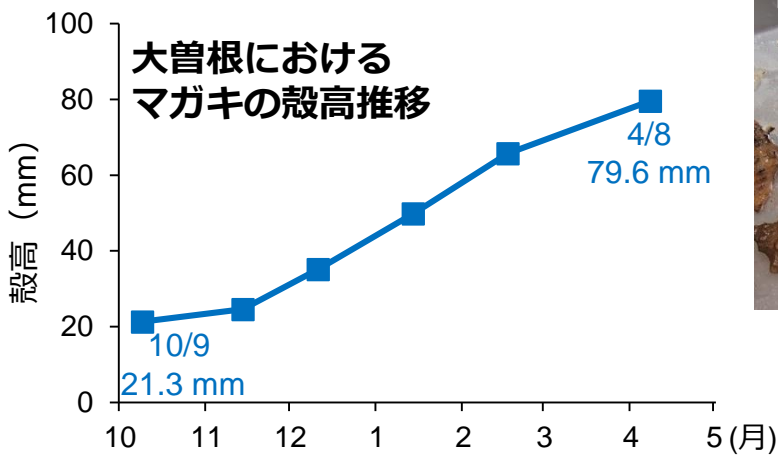
【マガキ養殖試験】

大曽根

出荷サイズ 3,944個（H30実績 2,700個）
出荷サイズ率 3.2%（H30実績 3.9%）

曾根

養殖開始後、レイシガイ類によって種苗が食害され、2020年1月までに全滅



【マガキの成長写真（大曽根）】



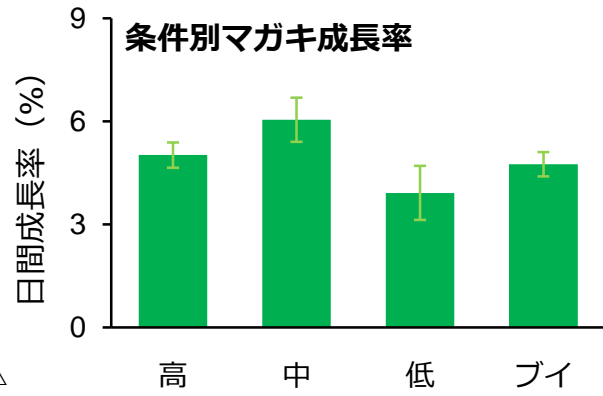
【マガキ垂下条件別試験】

大曽根

適切な収容密度を明らかにする目的で実施
 マガキ種苗を下記条件で垂下→成長率を比較
 月一度測定後、成長分を除くことで条件を維持

- 高密度 1,600 g/カゴ
- 中密度 1,200 g/カゴ
- 低密度 1,000 g/カゴ
- ブイ 1,200 g/カゴ+カゴにブイ設置

中密度で成長率○、高・低密度、ブイで成長率△
 →1,200 g/カゴが適切な収容密度



【レイシガイ類淡水浸漬試験】

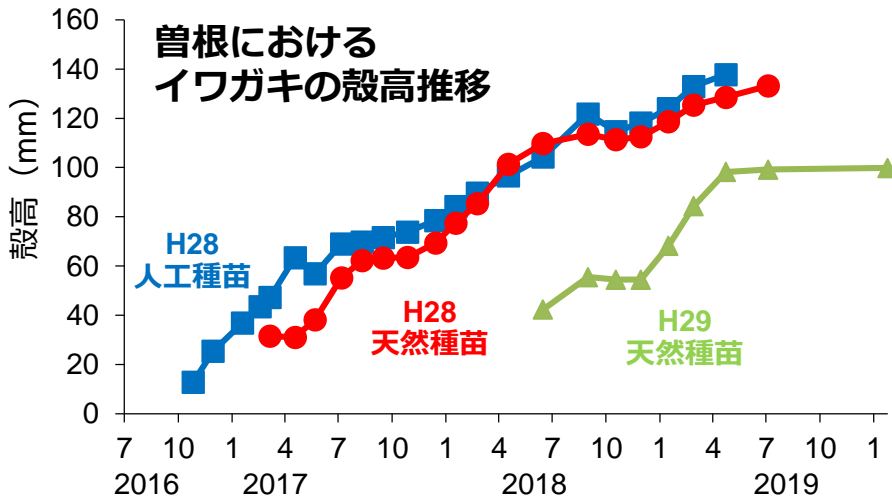
曽根 レイシガイ類によってマガキ種苗全滅
 →ヒラムシ類に有効な真水浸漬を試験
 真水および海水にレイシガイ類を浸漬
 死亡・忌避しないかを観察

浸漬2時間後までに死亡・忌避は確認されず
 →レイシガイ類対策として真水浸漬×



【イワガキ養殖試験】

曽根 下記3種類のイワガキ種苗を養殖試験
 H28.10 ヤンマー人工種苗(～H31.04)
 H28.10 採苗器設置、H29.03採苗の天然種苗(～H31.09)
 H29.10 採苗器設置、H30.06採苗の天然種苗



【H30.06天然採苗イワガキの成長写真（曽根）】

